

職域部門 国土交通省 関東地方整備局東京港湾事務所
 特定離島港湾プロジェクトチーム

《絶海の孤島という過酷な勤務環境の中、遠隔離島の港湾施設整備に尽力》

名称・所在地・代表者名・沿革等	組織の概要・組織図等
<p>国土交通省</p> <p>関東地方整備局 東京港湾事務所 特定離島港湾プロジェクトチーム</p> <p>東京都江東区新木場1丁目6番25号</p> <p>東京港湾事務所長 <small>すぎ なか よう いち</small> 杉 中 洋 一</p> <p>(事務所長外21名)</p> <p>平成 14.4 国土交通省関東地方整備局東京 港湾工事事務所として設置</p> <p>平成 15.4 東京港湾事務所に名称変更</p> <p>平成 22.6 「排他的経済水域及び大陸棚の 保全及び利用の促進のための低 潮線の保全及び拠点施設の整備 等に関する法律」が施行</p> <p>平成 23.2 南鳥島にて港湾施設整備(岸壁・ 泊地)現地着工 職員による工事監督業務・水域 管理業務開始</p> <p>平成 25.3 沖ノ鳥島にて港湾施設整備(岸 壁・泊地・臨港道路)現地着工 職員による工事監督業務開始</p>	<p>国土交通省は、国土の総合的かつ体系的な利用、開発及び保全、そのための社会資本の整合的な整備、交通政策の推進等を任務としており、関東地方整備局は、関東1都8県を管轄し、道路や河川、港湾、空港などの社会資本の整備を通じて、安心・安全で豊かな地域社会を支えるという、重要な役割を担っている。</p> <p>東京港湾事務所は、平成14年に東京都江東区に設置され、主に東京都における港湾の整備・利用・保全、災害復旧に関することを担当している。</p> <p>東京港湾事務所 特定離島港湾プロジェクトチーム組織 体制 (H25.4.1現在)</p> <p>所 長</p> <ul style="list-style-type: none"> — 事業継続計画官 — 副所長(特定離島担当) — (本局)特定離島港湾計画課 — 第一特定離島港湾課 — 第二特定離島港湾課

顕彰理由

特定離島港湾プロジェクトチームは、我が国最南端及び最東端に位置し絶海の孤島である沖ノ鳥島及び南鳥島において、海洋資源の開発・利用・海洋調査等に関する活動のため、船舶の係留、停泊、荷さばき等が可能となる活動拠点の整備を進めている。

現地は熱帯から亜熱帯域の気象条件であり、また年間多数の台風が発生通過する海域にあり、長期間滞在する厳しい執務・生活環境の下、拠点となる施設整備及び低潮線保全区域の管理を行っており、我が国の排他的経済水域の保全及び海洋資源の開発・利用に関する活動拠点として寄与していくものである。

理由詳細

1 沖ノ鳥島及び南鳥島を取り巻く情勢と活動拠点整備の重要性

沖ノ鳥島及び南鳥島は、東京からそれぞれ約1,700～1,900Km離れた我が国最南端及び最東端に位置する国境離島である。近年、両島周辺海域に係る海洋資源への関心の高まりによって、我が国の排他的経済水域等の保全及び利用の重要性が増大している。そのため、周辺海域での海洋資源の開発・利用・海洋調査等の拠点となる港湾施設の整備を早期に実施することが重要であり、特定離島港湾プロジェクトチームは、「排他的経済水域及び大陸棚の保全及び利用促進のための低潮線の保全及び拠点施設の整備等に関する法律」（平成22年6月施行）に基づき、平成22年度から港湾施設を整備している。

2 職務の特殊性・勤務環境

両島は、年間多数の台風及び熱帯低気圧が発生通過する海域で、この来襲を警戒しつつ常時においても波浪が大きく潮流も早い過酷な気象・海象条件の中、特定離島港湾プロジェクトチームは、拠点施設の整備に従事している。

沖ノ鳥島は、外洋性の波浪の中、小型船舶で内地から約4日間掛けて渡島し、波浪により動揺する作業母船に長期間滞在して業務を実施している。工事の作業現場へは、日の出後の早朝に作業母船から波浪により動揺する交通船に乗り換え移動している。鋼板からなる作業現場の床は、灼熱の太陽による輻射で60℃を超過する。このような厳しい環境の下、業務を実施している。今般、拠点施設となる大規模な荷捌施設を島の西側に初めて設置に成功したところである。

南鳥島は、月1回、自衛隊の協力により4時間掛けて渡島し、亜熱帯域の気象条件の中、職員が長期間滞在して外洋性の波浪条件を踏まえつつ拠点施設となる岸壁の整備を実施している。また、島には医師不在のため、有害生物（毒アリ等）に気を配りながら業務を実施している。さらに、排他的経済水域等の限界線の基礎となる低潮線を保全するための「低潮線保全区域」が設定されており、同区域の異常及び人為的な損壊の有無を確認するための巡視を職員が年間を通じて常駐管理を行っている。

3 海洋資源の開発及び利用に貢献

特定離島港湾プロジェクトチームが行う職務は、両島における活動拠点となる港湾施設整備及び保全を行うもので、我が国の排他的経済水域の保全及び海洋資源の開発・利用に関する活動拠点として寄与していくものである。

